

チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

相談・支援活動より (幼稚園・保育所編)



Q : 自分の思いを言葉で伝えられず、手が出してしまう子どもの指導は？

A : 適切な表現手段をつくる。(要求・拒否・注目) 要求言語(～したい、～がほしい)は、一番コミュニケーションをとろうとする気持ちになりやすく、モチベーションが高まる。拒否を表現(いやだ、やめて)できると、自分が苦しむことや友達とのトラブルが減る。注目(こっち見て、これ見て、先生!)を表出できると、何かを壊したり、人や自分を叩いたりする不適切な行動が減っていく。

Q : 靴を左右反対に履く、下着や服も前後を間違、整列が苦手な子どもの指導は？

A : 靴や服の前後左右が分かるように印を付ける。「○○さんの後ろ」「前から2番目だよ」など、具体的な言葉で説明する。(視覚化と言語化)



視空間認知は形ある物を見る、触れる、動かすことを繰り返すことで発達するので、ブロックや積木遊びなど形を区別できる活動や、楽しくボール運動やサーキット運動に取り入れる。

Q : 知っていることでも、「なんで？」と繰り返し質問する子どもの指導は？

A : 知的好奇心が膨らんできている証拠である。周りの大人とのコミュニケーションを楽しみたい時期でもあるので、ユーモアを交えて気軽に応える。子どもは厳密な知識を期待しているわけではなく、おしゃべりを楽しみたい気持ちが強い。子どもとのやり取りを楽しむと同時に、夢のある話をしてあげたい。どうして雨が降るの? 「地上で蒸発した水分(水蒸気)が・・・」よりも、「のどのいたお花さんが喜ぶからだよ。」

Q : 通りすがりの友達をいきなり叩いてしまう子どもの指導は？

A : 行動には意味があり、その子なりの思いがある。同じことを繰り返すのは、保育者に分かってほしいという思いがある。何をしたいのか、どんな欲求が満たされないのか、子どもの思いを感じ取る。心にもやもやがあって八つ当たりすることもある。周囲から認められる経験を重ねる、正しい関わり方を提示したり友達とうまくコミュニケーションがとれたりするように支援する。個別に関わる時間をもつことも大切である。



地域研修会(きらきら塾)のご案内



- 1 日時 : 平成26年8月1日(金) 13:30~15:00
- 2 会場 : 秋田県立養護学校天王みどり学園 会議室(冷房完備)
- 3 対象 : 男鹿潟上南秋地区の幼稚園・保育所・保育園の先生方
- 4 内容 : 講話「発達の気付きが子ども理解と支援」話題提供者 : 私(加賀谷 勝)
言葉の意味理解が苦手、こだわりが強い等、これまで関わったケースを紹介する
- 5 日程 13:10~13:30 受付
13:30~14:30 講話&楽しい演習 質疑応答
14:30~15:00 希望者による個別相談会
- 6 締切 : 7月29日(火) ☎ 018-870-4611 (地域支援部)

「さらに輝きたいみなさん、今すぐ天王みどり学園へ電話を！」